

【ねがいましては】

平成14年2月27日

第142号

KYOWA SCHOOL

「輝く瞳」

平成14年2月中旬から下旬、私は東京都内小学校3校へ、そろばん出講講師として行ってきました。(指導学年3・4年生、総時間数24時間)

私にとっては、夢のようなあつという間の24時間でした。

目を瞑ると、出てくるのは「子供達の笑顔」です。あらためて、子供達は「素直」のかたまりさんなのだなというのが実感です。3校ともそれなりの特色を持っており、魅力を持っていました。(生徒さんたちからの魅力が光っていました。)

それに反して、皆さんお疲れの様子。(先生方)

先生って、大変な職業なんだな。というのが率直な感想です。それが表情から見て取れるのです。疲れが取れないでいらっしゃる。特に年配の先生方に、その傾向が強く見て取れました。

その反面、あれっ！というくらい明るい表情で子供たちと触れ合っている先生もいらっしゃいました。私もほんのちょっぴり、「先生」と呼ばれる商売をしていますので「先生方の表情」には興味があります。30人～35人のクラスでは、どうしても子供達全員が100%集中することは難しいのが当然だと思われます。皆が皆、ごくごく普通な子ばかりではありません。

いまひとつ元気がない先生は、子供達をおさえるのが大変そう。元気な先生は、子供達の目の高さにおいてあげようという気持が見て取れるのです。そのような教室の子供達は、私のそろばん授業でも、とても「ノリ」がいいのです。そして「輝く瞳」を感じるのです。

すべての日、教室で給食を子供達とともに食べさせていただきました。いやー、賑やかなこと。こんなに賑やかだったかなー？私の小学校時代も。

すべてのクラスに、KYOWA SCHOOL CAMP 2001のCD-ROMをプレゼントしてきました。その中の、「しあわせさん」という童話の主人公である、「カッチン」を題材に、そろばん授業をしました。わたしは、日頃より「こころ」を一番の大切なものとして、子供達と触れ合っているつもりです。私の教室のホームページでも、スタートのロゴが、「こころがあったかくなると、なぜか歩けるのです。」で始まります。私はすべての学校で、教室で、事あるごとに「精一杯やれば、全部バツでも全部マルでも、それは100点ですね！」と声をかけました。

そして、そろばんを知っている子がいれば、「ねっ、君さ、わからない人に教えてあげてくれるかな。ていねいにそっと教えてあげてね！」「そうそう、ありがとう！」彼の、はにかんだちょっと照れた表情。

私は今回教壇に立ち、すべての授業で、ある「思い」に駆られました。私の教室の子達・・・なんて優しい子ばかりなのだろう。なんて自分はこんなに幸せなのだろう。

私は教室経営を始めて、25年余になります。そのスタートからまったく変えていない教育方針があります。「思いやりと優しさ」です。ますますこの生き方に、私は確信を持てることが出来ました。今日も昨日も、おとといも、こども達は助け合って勉強しています。この風景、小学校の先生方に見ていただきたい。その一心です。あらためて、この教室に通う生徒さん達に、・・・ありがとう！

3月の予定・・・3月1日(金)珠算・暗算検定試験受付締め切り

3月13(水)～16(土)各検定試験実施・・・KYOWA SCHOOL

下旬・・・遠足実施(詳細は、別紙にて)

好評いただいております、「くりたのランチ春季講習」・・・別紙にて